

会長：柳田 光寛 副会長：藤堂 孝一
 幹事：荒武 義博 会報委員長：林 厚雄
 会計：日高 邦孝
 事務局：吉野由里子 宮崎市佐土原町下田島 11703-18
 TEL：0985-62-7833 FAX：0985-62-7877
 例会日：毎週水曜日
 例会場：佐土原商工会 2F TEL：0985-73-2567



第1113回 平成22年4月28日(水)

本日のプログラム

- | | |
|--------------------|--------------|
| 1. 点 鐘 | 6. 幹 事 報 告 |
| 2. ロータリーソング | 7. 出 席 報 告 |
| 「奉仕の理想」 | 8. 委 員 会 報 告 |
| 3. 四つのテスト | 9. ゲ ス ト 卓 話 |
| 4. 会長の時間 | 10. 点 鐘 |
| 5. ハッピーBOX披露『会長より』 | |

5月5日(水)・・・特別休会「こどもの日」

5月12日(水)・・・会員卓話

5月19日(水)・・・次年度計画「クラブ管理運営委員会」

佐土原ロータリー月間テーマ

【雑誌月間】

第1112回の記録 平成22年4月21日

会長の時間

柳田 光寛 会長



みなさんこんにちは、今日は1112回目の例会です。
 先週は、早朝例会に多数出席いただきましてありがとうございました。
 この公園を利用の方々は皆さんマナーがいいのか、目だつたごみも見受けられませんでした。

今日は今月初めての、当会場にての例会です。

4月はロータリーの雑誌月間となっております。

RIの公式機関紙『ザ・ロータリアン』および世界31の地域雑誌の購読と、活用促進に役立つプログラムを実施する月間です。ロータリーの雑誌(『ロータリーの友』など)に対する会員の認識を深め、それによってロータリーの情報の普及を図ることが目的です。

クラブはこの月間中に雑誌に関するプログラムを実施しなければなりません。

チェス・ペリー国際ロータリー初代事務総長によって創刊された、『ザ・ナショナル・ロータリアン』

(1912年に『ザ・ロータリアン』に(改称)が発刊された1911年1月25日を記念して、当初1月25日を含む1週間を雑誌月間としていました。

『2004年手続要覧』の「ロータリー・クラブ定款」の「第13条ロータリーの雑誌」では、各会員は、会員身分を保持する限り、RIの機関雑誌、または国際ロータリー理事会から、本クラブに対して承認ならびに指定されている地域的なロータリー雑誌(日本では『ロータリーの友』)を購入義務として定めています。

最後に、今日は何の日

1951(昭和26)年のこの日、日本で初めて民間放送局16社に放送の予備免許が与えられた。

翌年の同日、社団法人日本民間放送連盟が発足され、1968年に「放送広告の日」、1983年に「民放の日」と改称された。

宮崎の民放の開局日

MRT 宮崎放送・・・1954年7月1日

UMK テレビ宮崎・・・1970年4月1日

FM宮崎・・・1984年12月1日

幹事報告

荒武 義博 君



※例会変更届け～無し
 ※第15回国際音楽祭の開催のご案内～
 4月24日(土)～
 5月9日(日)

※地区委員選任のお願い～
 次期地区フェロウシップ小委員会委員に
 岩切正司君を選出

※4クラブ合同懇親会の案内～
 日時5月21日(金)
 西都市ウェディングパレス敷島にて
 会費¥5,000「岩切ガバナー補佐激励会」



※ビジターのラリートンプソンさん
 「カナダのレッドディアードウンタウンクラブ所属」

委員会報告



○会長エレクト 藤堂 孝一 君
 <5月9日の地区協議会への出席依頼>

5月9日の地区協議会の件で案内します。登録出席者は別紙のとおりですが都合により欠席される方の代理として新会員の方はぜひ出席お願いします。10時開会の予定ですので、佐土原支所前を7時半には出発しないと間に合わないと思いますので時間厳守の上よろしくをお願いします。アイ観光バスをチャーターしていますのでよろしくをお願いします。

先日、NHKテレビの「クローズアップ現代」を何となく見ていたら、司会者の森本健成（モリモトタケシゲ）とコピーライターの糸井重里が生き生きと話をしているのに何をそんなに面白く話しているのだろうと注意して見ていたら「人を動かす言葉」・「利益を上げるのが企業ではない」とかいろ

んな言葉が続けて出てくるのが気になり急いでメモを取り始めたのだが、次々に言葉が続くのでメモが間に合わない状態になり、じっと聞いていた次第です。まさにロータリーの職業奉仕の概念と同じと私は感じました。その対談の中に、もう一人白髪の老人が若々しく、目を輝かせて糸井重里の話に相槌を打ちながら補足してその言葉の解説をしているのがさらに番組を引き立てていたのでした。その方は上田さんといってアメリカの出版物の翻訳者でドラッカーという人の本をすべて日本語に訳している方でした。

ドラッカーの言葉としていろんな名言集を出しているそうです。1949年ごろに書かれた本で現在までに数十冊の本を出しているようです。早速本屋に行って並んでいた本の1冊を買って読んでみたのですが、非常に難解ですぐに眠くなってしまいそうな本ですが、少しづつ読んでいっている最中です。

ピーター・ドラッカー 1909～2005 95歳で亡くなる
 オーストリア生まれの経営学者・社会学者 日本での著書の売上 ダイヤモンド社だけでも400万部の売り上げがあるそうです。ロータリーの職業奉仕と相通ずるところがあるような気がします。



○親睦委員長 吉田 康一郎 君
 4月23日に予定しております「歯車会ゴルフコンペ」に当クラブより9名、高鍋RCより4名、西都RCより1名、宮崎北RCより2名の合計17名の参加で行う予定です。



○会員増強委員長 福井 輝文 君
 今年度中に1名の増強は必ずします。皆様のご協力をお願いいたします。

フォーラム



○広報委員長 林 厚雄 君

歴史的にみると、ロータリアンは、ロータリーは広報を追求すべきではなく、むしろ私たちの素晴らしい業績が自ら物語るようにさせるべきだという神話を不朽にしました。1923年の方針の中にある「ロータリー・クラブが奉仕活動を選ぶ場合に宣伝をその主たる目標としてはない」という声明は、しばしばロータリー・クラブは宣伝と広報活動をする努力を避けるべきである、という意味に解釈されていました。実際は、しかし、1923年の声明が更に述べているのは、「ロータリーの影響力を拡大する方法として、クラブが立派に遂行し得る有益な事業については正しい広報が行われるべきである」ということです。もっと現代風な広報の哲学が1970年代半ばに採択されましたが、それは次のように

述べています。もし、ロータリーの綱領とプログラムへの理解、評価、支援を育成し、人類へのロータリーの奉仕を広げるなら、「良い意味での宣伝、好ましい広報、肯定的イメージは、ロータリーにとって望ましく不可欠の目標です」。

立派に遂行された奉仕プロジェクトはロータリーの一番見事な広報だと考えられます。ロータリー・クラブがその達成した奉仕プロジェクトについて一般の人々に知らせるため、あらゆる努力をすることは極めて大切です。
 ～ 以下省略 ～

ハッピィーBOX披露

※垂水敏雄君～佐土原RCの名声カナダのクラブにも届いています。「米山へ」

※正岡文郁君～先日は大光寺のゴルフコンペに沢山の方にご参加いただき有難うございました。「米山へ」

※岩切正司君～近くのクラブにメイクアップをいたしましょう。「米山へ」

四つのテスト

「言行はこれに照らしてから」

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

出席状況 第1108回

平成22年3月17日(水)

会員数	25名
(免除会員)	2名
出席者数	20名
欠席者数	5名
出席率	89.0%
メイクアップ	1名
修正出席率	91.0%

MEMO

例会中は携帯電話の電源を切るか
 マナーモードにしてください・・・
